

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-301069

(43)Date of publication of application : 30.10.2001

(51)Int.Cl. B31D 5/00

B65D 67/02

B65D 71/12

B65D 75/62

(21)Application number : 2000-120105

(71)Applicant : DAINIPPON PRINTING CO LTD

(22)Date of filing : 20.04.2000

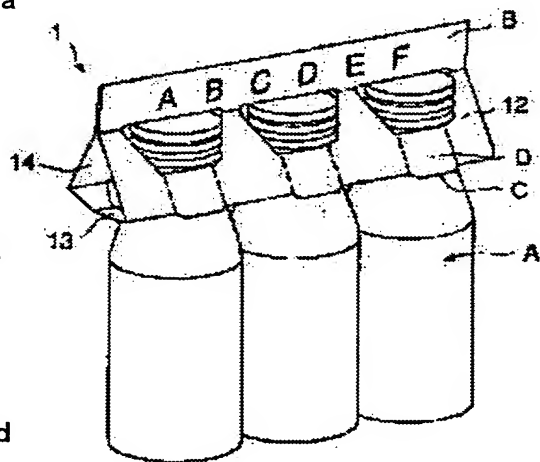
(72)Inventor : HIOKI AKIO
HOTANI KIYOSHI
MURATA KENJI

(54) PAPER-MADE CONTAINER HOLDER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a paper-made container holder which can be assembled simply from a blank, has an enough space for printing an expression and a pattern, and can be fitted to the container simply.

SOLUTION: The holder is formed by a method in which the blank in which the first upper panel, the first side panel, a bottom panel, the second side panel, and the second upper panel are formed through folding lines is folded in the folding lines, the back of the first upper panel and the back of the second upper panel are stuck to each other to form an expression panel, a cylindrical part with a triangular cross section is formed from the first side panel, the bottom panel, and the second side panel, container neck parts are inserted into the bottom panel to form bottom panel holes for fixing the shoulder parts of containers, and side panel holes for holding the neck parts or lid parts of the containers are formed at positions corresponding to the bottom panel hole in the first side panel and the second side panel.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-301069

(P2001-301069A)

(43) 公開日 平成13年10月30日 (2001. 10. 30)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
B 3 1 D 5/00		B 3 1 D 5/00	3 E 0 6 7
B 6 5 D 67/02		B 6 5 D 67/02	B 3 E 0 7 5
71/12		75/62	B
75/62		71/00	B

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-120105 (P2000-120105)

(22) 出願日 平成12年4月20日 (2000. 4. 20)

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 日燈 明夫

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 穂谷 清志

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74) 代理人 100111659

弁理士 金山 聡

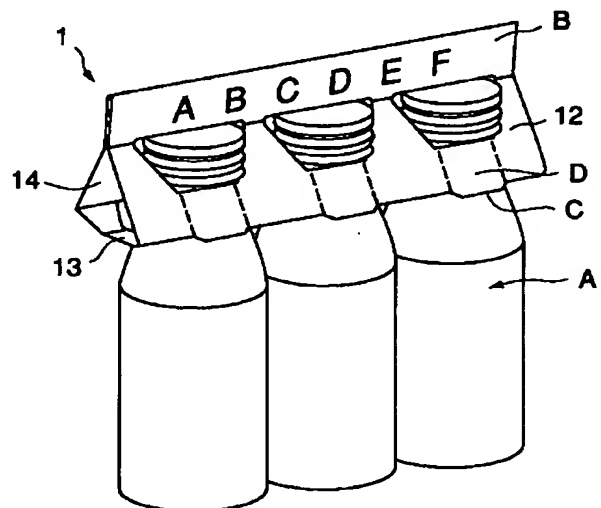
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 紙製容器ホルダー

(57) 【要約】

【課題】一枚のブランクから簡単に組み立てることができる構造で、表示、絵柄などの印刷を行うスペースも多く、かつ容器への装着が簡単である紙製容器ホルダーを提供することである。

【解決手段】本発明は、第一上パネル、第一側パネル、底パネル、第二側パネルおよび第二上パネルを折れ線を介して順次連設した一枚のブランクを前記折れ線で折り曲げて、前記第一上パネルと前記第二上パネルを裏面同志で貼り合わせて表示パネルを形成し、前記第一側パネル、前記底パネルおよび前記第二側パネルで断面が三角形の筒状部とし、前記底パネルに複数の容器の首部を挿入して肩部を固定する底パネル孔を設け、前記第一側パネルおよび前記第二側パネルに前記底パネル孔に対応した位置に前記容器の首部あるいは蓋部を保持する側パネル孔を設けたことを特徴とする紙製容器ホルダーである。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第一上パネル、第一側パネル、底パネル、第二側パネルおよび第二上パネルを折れ線を介して順次連設した一枚のブランクを前記折れ線で折り曲げて、前記第一上パネルと前記第二上パネルを裏面同志で貼り合わせて表示パネルを形成し、前記第一側パネル、前記底パネルおよび前記第二側パネルで断面が三角形の筒状部とし、前記底パネルに複数の容器の首部を挿入して肩部を固定する底パネル孔を設け、前記第一側パネルおよび前記第二側パネルに前記底パネル孔に対応した位置に前記容器の首部あるいは蓋部を保持する側パネル孔を設けたことを特徴とする紙製容器ホルダー。

【請求項 2】 前記底パネル孔の内周が、前記底パネルと前記第一側パネルとの折れ線の一部、および前記底パネルと前記第二側パネルとの折れ線の一部を含み、該前記底パネルと前記第一側パネルとの折れ線の一部を延長して前記底パネル孔の内方向に摘み片を設け、該摘み片の両端を起点として前記第一側パネル孔に至る二本の切り取り線による開封帯を設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の紙製容器ホルダー。

【請求項 3】 前記表示パネルに指を差し込む取手用孔を設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の紙製容器ホルダー。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、瓶などの容器の首部を保持するための紙製容器ホルダーに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来から瓶などの複数の容器の首部を保持する板紙などで作られる紙製容器ホルダーは、種々の形態がある。例えば、図のように断面が山型の形状をし、容器の首部を嵌め込む形態のものもある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の紙製容器ホルダーでは、複数の容器が装着された状態で手で持ちにくいという問題があった。また、印刷などによる表示、絵柄などを行うスペースが少なく意匠性の点でも問題があった。さらに、容器に装着する包装機を必要とするという問題があった。

【0004】 本発明はこのような課題を解決するもので、一枚のブランクから簡単に組み立てることができる構造で、表示、絵柄などの印刷を行うスペースも多く、かつ容器への装着が簡単である紙製容器ホルダーを提供することを目的とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】 この課題を解決するために本発明は、第一上パネル、第一側パネル、底パネル、第二側パネルおよび第二上パネルを折れ線を介して順次連設した一枚のブランクを前記折れ線で折り曲げて、前

記第一上パネルと前記第二上パネルを裏面同志で貼り合わせて表示パネルを形成し、前記第一側パネル、前記底パネルおよび前記第二側パネルで断面が三角形の筒状部とし、前記底パネルに複数の容器の首部を挿入して肩部を固定する底パネル孔を設け、前記第一側パネルおよび前記第二側パネルに前記底パネル孔に対応した位置に前記容器の首部あるいは蓋部を保持する側パネル孔を設けたことを特徴とする紙製容器ホルダーである。

【0006】 また、前記底パネル孔の内周が、前記底パネルと前記第一側パネルとの折れ線の一部、および前記底パネルと前記第二側パネルとの折れ線の一部を含み、該前記底パネルと前記第一側パネルとの折れ線の一部を延長して前記底パネル孔の内方向に摘み片を設け、該摘み片の両端を起点として前記第一側パネル孔に至る二本の切り取り線による開封帯を設けたことを特徴とする。

【0007】 さらに、前記表示パネルに指を差し込む取手用孔を設けたことを特徴とする。

【0008】 本発明によれば、一枚のブランクから簡単に組み立てることができる構造で、表示、絵柄などの印刷を行うスペースも多く、かつ容器の装着が簡単である紙製容器ホルダーを得ることができる。

【0009】

【実施の形態】 以下、本発明の実施の形態について、図面に基いて説明する。

【0010】 図 1 は、本発明の紙製容器ホルダーの実施の形態の一実施例を組み立てた状態を示す斜視図であり、図 2 は、実際に容器を装着した状態を示す斜視図であり、紙製容器ホルダー 1 は、一枚のブランクを組み立てて形成したものであり、複数の整列した瓶などの容器 A の首部あるいは蓋部を保持し、複数の容器 A を持ちやすくしたものである。第一側パネル 12、底パネル 13、第二側パネル 14 とで断面が三角形の筒状となっており、第一側パネル 12 と第二側パネル 14 とが合一した部分から上方に第一上パネル 11 と第二上パネル 15 とが貼り合わされ表示パネル B を形成している。その表示パネル B には、種々の表示、絵柄などを印刷により設けることもできる。また、底パネル 13 の底パネル孔 13a より挿入された容器は、第一側パネル 12、第二側パネル 14 に設けられた第一側パネル孔 12a、第二側パネル孔 14a により、容器 A の首部あるいは蓋部が把持されている。さらに、底パネル孔 13a の側縁には摘み片 C を設け、この部分から開封可能な開封帯 D を設けている。

【0011】 図 3 は、本発明の紙製容器ホルダーを形成するブランクの展開図を示している。ブランク 10 では、第一上パネル 11、第一側パネル 12、底パネル 13、第二側パネル 14 そして第二上パネル 15 が折れ線 a、b、c、d を介して順次連設されている。底パネルの 13 の幅は、保持する容器 A の首部あるいは肩部の幅より大きく設定する。そして、狭い幅の底パネル 13 に

10

20

30

40

50

は、幅方向の中央部に折れ線 b、c に平行に折れ線 e が設けられている。

【0012】また、底パネル 13 には、この折れ線 e を跨いで、容器 A の首部が挿入されて、容器 A の肩部が固定される底パネル孔 13a が長さ方向に間隔をもって離れて設けられている。この底パネル 13 に形成された底パネル孔 13a は、容器 A の首部が挿入できて肩部が固定できる開口面積を有していればよく、底パネル 13 の幅方向の両端は折れ線 b、c に届くように設け、全体の形状は、容器 A を肩部を保持するものであればよく、挿入される容器 A の肩部の外径より大きく設定してある。なお、この紙製容器ホルダー 1 を、自動包装機を用いる場合は、自動包装機による装着作業性を考慮して、より大きく設定しておいても良い。

【0013】第一側パネル 12、第二側パネル 14 に形成された第一側パネル孔 12a、第二側パネル孔 14a は、底パネル孔 13a より挿入された容器 A の首部あるいは蓋部を把持するように設けられる。すなわち、上下の幅は、容器 A の首部のフランジ（凸部）あるいは蓋部が第一側パネル孔 12a、第二側パネル孔 14a の下縁で係止されるように設け、左右の幅は、容器 A の首部あるいは蓋部の外径より若干大きく設定されている。容器 A を首部あるいは蓋部を挿入した後、容器 A の首部あるいは蓋部が固定されるように、上縁は広く、下縁は狭い台形とすることが好ましい。

【0014】また、第一側パネル 12 を底パネル孔 13a において、第一側パネル 12 を延長して摘み片 C を設け、その摘み片 C の両端を起点として第一側パネル孔 12a に至る二本の切り取り線 e を設け、引き裂き可能な開封帯 D を設けている。この開封帯 D を切り取ることで、個々に容器 A を取り出すことができる。この開封帯 D は第二側パネル 14 に設けてもよく、さらに第一側パネル 12 および第二側パネル 14 の両パネルに設けてもよい。

【0015】以上のように構成されたブランク 10 を組み立てるには、底パネル 13 の中央部に設けた折れ線 e により折り曲げて、第一上パネル 11 と第二上パネル 15 を裏面同士で貼り合わせて表示パネル B を形成することにより、図 4 に示すように、二つ折りに折り畳まれた平面状態の紙製容器ホルダー 1 を作製することができる。この製造は、従来の製函機で容易に行うことができる。

【0016】また、作製された折り畳まれた状態の紙製容器ホルダー 1 を組み立てて容器 A の首部あるいは蓋部に装着する場合は、まず、図 5-a に示すように、折り畳まれた平面状態の紙製容器ホルダー 1 を折れ線 a、b、c、d で折り曲げて第一側パネル 12、底パネル 13、第二側パネル 14 とで断面が三角形の筒状とする。

【0017】つぎに、図 5-b に示すように、底パネル

13 の底パネル孔 13a から容器 A の首部を挿入していき、容器 A の首部あるいは蓋部を第一側パネル 12 の第一側パネル孔 12a、第二側パネル 14 の第二側パネル孔 14a に挿入し、容器 A の首部のフランジ（凸部）あるいは蓋部が第一側パネル孔 12a、第二側パネル孔 14a の下縁を乗り越え、図 5-c に示すように、係止されるまで挿入される。第一側パネル孔 12a、第二側パネル孔 14a の下縁が容器 A のフランジ内側あるいは蓋部の段差に向かって食い込むように係止されるため、装着された紙製容器ホルダー 1 が外れにくい。

【0018】また、この紙製容器ホルダー 1 に保持された容器 A を、紙製容器ホルダー 1 から取り外す際は、図 6 に示すように、第一側パネル 12 の下端に設けられた摘み片 C を摘んで引っ張り開封帯 D を切り取ることで、容易に取り外すことができる。従って、切り取り線 e は、切り取りやすいようにミシン目、半切れ、リード野などとしておくと、開封帯 D を容易に切り取ることができる。

【0019】図 7 は、別の実施例を示す斜視図である。この紙製容器ホルダー 1a では、表示パネル B の幅を広くしてそのほぼ中央部に指を差し込むことができるように取手用孔 E を設け、取手機能を持たせている。この取手をもつことによって、容易に複数の容器 A を持ち運ぶことができる。

【0020】上記の実施例の紙製容器ホルダー 1、1a では 3 本の容器 A を保持するようにしているが、保持する容器 A の数や紙製容器ホルダー自体の長さは、上述した各実施例に限定されるものではなく、保持する容器の重量や形状、紙製容器ホルダーを作製する厚紙の強度等に応じて、適宜設定することができる。

【0021】また、この紙製容器ホルダー 1、1a に使用する材料としては、板紙、E 段ボール、合成樹脂シート、合成樹脂製フィルムを積層したシート等を使用することができるが、環境対応、コスト、強度、加工性の点で、板紙を使用することが好ましい。板紙の坪量としては、200～600 g/m² 程度のコートボール紙を使用することが好ましい。また、ポリエチレンなどの樹脂を加工した板紙、耐水加工を行った板紙などを使用することもできる。

【0022】

【発明の効果】以上のように、本発明の紙製容器ホルダーは、板紙などからなる一枚のブランクを折り曲げて、第一上パネルと第二上パネルとを貼り合わせて表示パネルとし、第一側パネルと底パネルと第二側パネルとを三角形の筒状に形成し、底パネルに設けた底パネル孔から容器を挿入し、第一側パネルに設けた第一側パネル孔と第二側パネルに設けた第二側パネル孔に容器の首部あるいは蓋部を係止することによって、容器全体を保持できる形態となっている。

【0023】また、本発明の紙製容器ホルダーは製造

は、二つに折り畳んで貼り合わせるという簡単な工程であり、一般的な製函機で製造することができる。また、使用する前の状態が折り畳まれた平面状であるので、運搬や保管に場所を取らないという特徴がある。

【0024】また、この紙製容器ホルダーに容器に装着する時には、折り畳まれた状態の紙製容器ホルダーを起こして底パネルの底パネル孔から容器の首部を挿入するだけで、容器がこの紙製容器ホルダーに保持されるので、装着作業が容易であり、手作業でも、機械による自動包装でも行うことができる。しかも、側パネルの側パネル孔の下縁に容器の首部あるいは蓋部が確実に係止されるので、容器の脱落を確実に防ぐことができる。

【0025】さらに、表示パネルを形成していることから、この部分に印刷による表示をはじめ絵柄などを施すことができ、意匠効果を高めることができる。また、この表示パネルには、取手用孔を設けることにより、取手機能を持たせることができ、容易に複数の容器を持ち運ぶことができる。

【0026】さらにまた、側パネルには開封帯を設けており、下端の摘み片を摘み切り取ることにより、容易に個々の容器を取り外すことができる。

【0027】以上のように本発明は、使用前は平面状態で、保管、輸送に場所をとらず、使用時において容易に組立てて使用することができ、複数の容器を確実に保持することができ、材料コストおよび製造コストが低いことを特徴とする紙製容器ホルダーである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の紙製容器ホルダーの一実施例の組み立て後を示す斜視図である。

【図2】本発明の紙製容器ホルダーの一実施例の容器*

*を装着した状態を示す斜視図である。

【図3】本発明の紙製容器ホルダーの一実施例の組み立て前のブランクの展開図である。

【図4】本発明の紙製容器ホルダーの一実施例の使用前の折り畳んだ状態を示す平面図である。

【図5】本発明の紙製容器ホルダーの一実施例に容器を装着する過程を示す横断面図である。

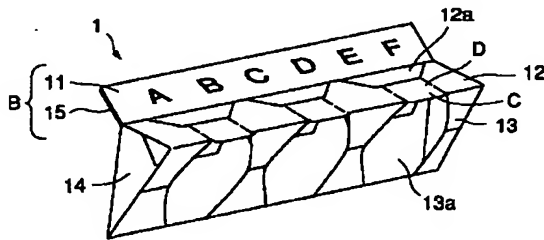
【図6】本発明の紙製容器ホルダーの一実施例の開封方法を示す斜視図である。

【図7】本発明の紙製容器ホルダーの別の実施例の容器を装着した状態を示す斜視図である。

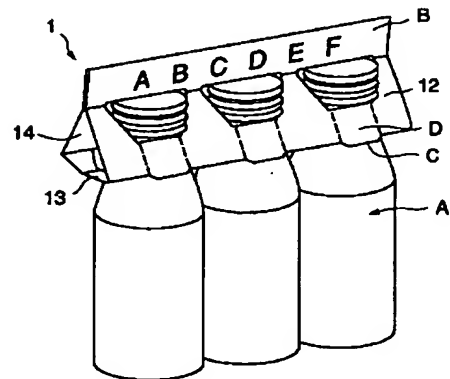
【符号の説明】

- 1 紙製容器ホルダー
- 1 a 紙製容器ホルダー
- 10 ブランク
- 11 第一上パネル
- 12 第一側パネル
- 12 a 第一側パネル孔
- 13 底パネル
- 13 a 底パネル孔
- 14 第二側パネル
- 14 a 第二側パネル孔
- 15 第二上パネル
- A 容器
- B 表示パネル
- C 摘み片
- D 開封帯
- E 取手用孔
- a ~ d 折れ線
- e 切り取り線

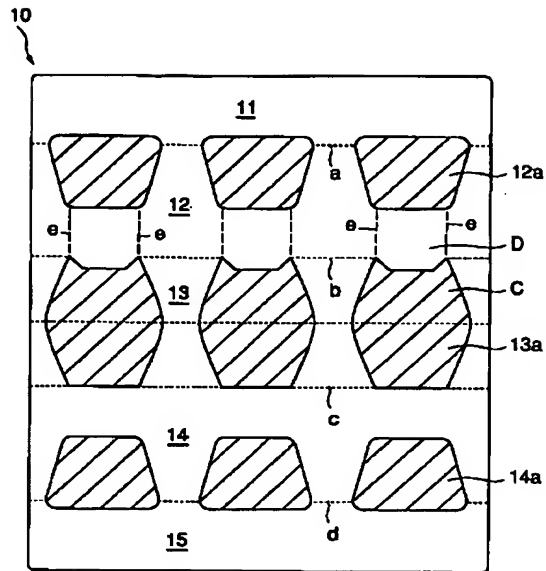
【図1】



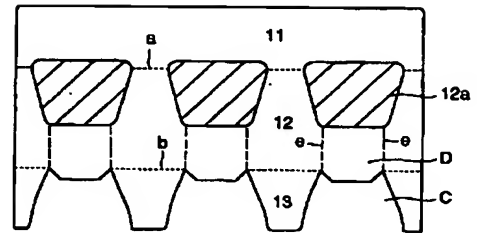
【図2】



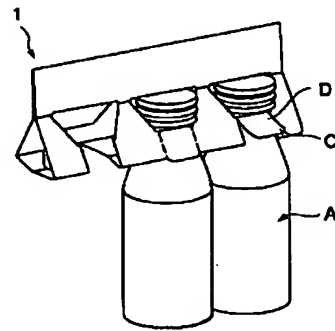
【図3】



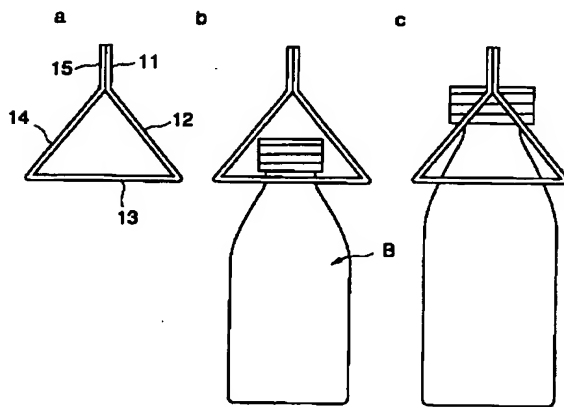
【図4】



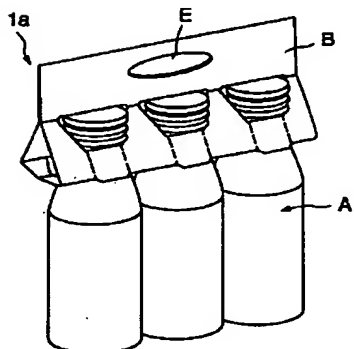
【図6】



【図5】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 村田 賢治
東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
大日本印刷株式会社内

Fターム(参考) 3E067 AA22 AB99 AC04 BA20A
BB01A EA01 EB03 EB05
EC05 EE13 EE59 FA07 FC04
FC06
3E075 BA95 CA01 DB16 DB17 DB19
DB22 DC02 DC44 DE12 GA03